

### 3 国際理解教育の充実

#### (1) プログラム開発の背景

グローバル化が急速に進展する中、国際社会の一員としての自覚を持ち、自国はもとより、諸外国の歴史や文化、伝統等について理解を深め、尊重し、様々な価値観を持つ人々と共に協調して生きていく態度や、外国語を通じて積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を育成することが求められている。

新しい学習指導要領においても、小学校における外国語・外国語活動が拡大しており、一層の外国語教育の充実が図られている。

このことから、道立青少年体験活動支援施設においても、幼児・児童生徒を対象に、日本にいなから、外国人等と触れ合う体験を通して生きた英語に慣れ親しむ機会を提供するなど、外国語によるコミュニケーション能力の育成に向けた取組を推進し、その成果を普及するためのプログラムを開発するものである。

#### (2) 道及び道教委の主な関連施策

##### ・北海道総合教育大綱 基本方針Ⅰ 新たな生きる力を育む「国際理解教育の充実」

生まれ育った地域に対する誇りと愛着を持つとともに、世界に学び、幅広い視野と異なる文化への慣用を身に付け、書雷の北海道に貢献する意欲を持ったグローバル人材を育成します。

英語で日常的なコミュニケーションを行うことができる力を身に付けられるよう、小学校、中学校、高等学校等の各段階を通じて、英語教育の充実を図ります。

海外から帰国した児童生徒や外国人の児童生徒に対し、日本語の習得や学習内容の理解が進むよう、一人ひとりの実態に応じたきめ細かな指導や支援の充実を図ります。

##### ・北海道教育推進計画 施策項目3 国際理解教育の充実

「国際社会において主体的に行動できる資質・能力を育成するため、海外の子どもたちのほか、来道している留学生や海外の方々と触れ合いながら国際理解を図る機会を充実するとともに、高等学校卒業段階において英語で少なくとも日常的なコミュニケーションができる力を育成する取組を推進します。」

#### (3) 各施設実施プログラムの概要

|                                |   |
|--------------------------------|---|
| <b>砂川</b>                      | <b>ジュニアイングリッシュキャンプ</b>                          |
| 令和3年12月11日(土)～12日(日)<br>(1泊2日) | 親子別プログラム(講話・英語ゲーム)、クリスマス飾り作り、英語で日本の遊び、ワールドカフェなど |
| <b>深川</b>                      | <b>グローバルミーティング</b>                              |
| 令和3年10月2日(土)～3日(日)<br>(1泊2日)   | 外国人による生活や文化の紹介、SDGsワークショップ、異文化交流など              |
| <b>北見</b>                      | <b>ジュニアイングリッシュキャンプ</b>                          |
| 令和3年10月16日(土)～17日(日)<br>(1泊2日) | 英語でコミュニケーション、お化けランタンづくり、読み聞かせ、クイズなど             |
| <b>足寄</b>                      | <b>ジュニアイングリッシュキャンプ</b>                          |
| 令和3年12月11日(土)～12日(日)<br>(1泊2日) | 外国の遊び、親子別プログラム(講話・英語で読み聞かせ)、英語でお店屋さん体験など        |

# ジュニアイングリッシュキャンプ

## 1 事業のねらい

子どもたちに英語や異文化に触れる機会の提供を通し、グローバル人材としての素地を養うとともに、保護者のグローバル化への意識向上や子育てについての学習機会とする。

## 2 事業の概要

- 期日 R3.12.11(土)~12(日) 1泊2日
- 対象 小1~小3までの児童とその保護者
- 人数 11家族26名
- 場所 ネパール砂川
- 協力 芦別市教育委員会・美唄市教育委員会・赤平市教育委員会・歌志内市教育委員会・滝川市観光国際課

## 3 プログラム

|        | 6         | 7  | 8    | 9   | 10  | 11  | 12 | 13 | 14  | 15  | 16  | 17   | 18 | 19  | 20 | 21   | 22   |    |
|--------|-----------|----|------|-----|-----|---|----|----|-----|-----|-----|------|----|-----|----|------|------|----|
| 11日(土) | 受付 13:00~ |    |      |     |     |   |    | 受付 | 開会式 | 活動1 | 活動2 | 自由時間 | 夕食 | 活動3 | 入浴 | 自由時間 | 就寝準備 | 就寝 |
| 12日(日) | 起床        | 朝食 | 部屋点検 | 活動4 | 閉会式 | 活動1【子ども：えいごdeゲーム】・【保護者：講演会】活動2【クリスマスの飾り作り】<br>活動3【えいごde ジャパニーズカルチャー】活動4【ワールドフェスタ】 |    |    |     |     |     |      |    |     |    |      |      |    |

## 4 ねらいを達成するための活動の工夫

- 異文化交流でグローバル人材の育成
  - ・ たくさんの国や地域の異文化交流ができるよう、様々な出身地の外国人スタッフを集めた。ワールドフェスタでは外国人スタッフの出身地や遊びを紹介してもらい外国の文化に触れる機会を作った。
  - ・ 分からない英語は「What is ○○?」と外国人スタッフに尋ねるよう促すなど積極的に英語を使える雰囲気作りをした。
- 外国人スタッフによる保護者向けの講演
  - ・ 保護者の講演会では、在日30年になる外国人スタッフが「幼少期から異文化に触れることの意義や家庭でできるグローバル教育について」のテーマで講演をした。

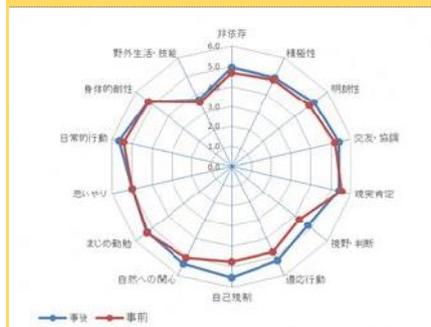


外国人スタッフの出身地紹介



保護者向けの講演会

## 5 事業の評価



- IKR 調査による変化
  - ・ 「自己規制」が0.8P 「適応行動」「視野・判断」が0.5P 向上。変化は見られるものの「視野・判断」「積極性」は5Pを下回っている。
- 参加者の声
  - ・ 様々な人や文化にふれることができたことに大変満足している。
  - ・ 自分から積極的に先生方に話しかけに行く姿を見ることができてびっくりした。

## 6 ねらいを踏まえた成果と課題

- 「適応行動」が向上したことから、外国人スタッフと英語を使った交流を通して、異文化を受け入れる態度が育ち、異文化への興味・関心が高まったと考えられる。
- 「視野・判断」「積極性」を高めるため、見通しをもたせ、自分から行動できるよう、活動の工夫を行う必要がある。



## 企画のポイント

様々な出身地の外国人スタッフとの異文化交流を通してグローバル人材の素地を養う。

# グローバルミーティング

## 1 事業のねらい

外国の言語や文化に触れる機会の提供をとおして、グローバル人材としての素地を養うとともに、持続可能な社会の創り手としての資質を高める場とする。

## 2 事業の概要

- 期日 R3.10.2(土)～3(日) 1泊2日
- 対象 小5～中3
- 人数 9名
- 場所 ネイバル深川

## 3 プログラム

| 日時          | 7                 | 8  | 9                | 10 | 11 | 12         | 13  | 14         | 15 | 16   | 17   | 18 | 19 | 20 | 21 | 22 |  |
|-------------|-------------------|----|------------------|----|----|------------|-----|------------|----|------|------|----|----|----|----|----|--|
| 10/2<br>(土) | ★受付時間 13:00～13:30 |    | ★開会式 13:30～14:00 |    | 受  | 開          | アイス | 世界で活躍する日本人 | 夕食 | SDGs | 自由   | 消  |    |    |    |    |  |
|             |                   |    |                  |    |    | 付          | 会   | プレ         |    |      | ワーク  | 入浴 | 灯  |    |    |    |  |
|             |                   |    |                  |    |    |            |     | イク         |    |      | ショップ |    |    |    |    |    |  |
| 10/3<br>(日) | 朝食                | 清掃 | ワールド             | 閉  | 解  | ★解散時間12:00 |     |            |    |      |      |    |    |    |    |    |  |
|             |                   |    | ツアー              | 会  | 散  |            |     |            |    |      |      |    |    |    |    |    |  |
|             |                   |    |                  | 式  |    |            |     |            |    |      |      |    |    |    |    |    |  |

## 4 ねらいを達成するための活動の工夫

- 英語圏に限らない外国人、日本人講師
  - ・4カ国の外国人、2カ国の日本人海外勤務経験者を講師として招くことにより、世界の文化の多様性を学ぶことができるようにした。
- ワークショップ形式のSDGs学習
  - ・国際社会の一員としての意識を高めるためのSDGs学習は、ワークショップ形式でグループごとにテーマを選び達成に向けての具体的な方法を話し合うことで当事者意識を持って取り組むことができた。



ワールドツアーでの  
モンゴルの伝統的な遊び シャガイ



世界で活躍する日本人での  
カメルーン共和国の紹介

## 5 事業の評価

- アンケートより（事前と事後のアンケートの比較）
  - ・「外国での生活にあこがれている」「外国の人とたくさん関わりたい」の項目がとくに上がった。外国の話や外国人と触れ合うことで意識が高まったと考えられる。
  - ・「外国語を話せるようになりたい」の項目は大きな変化がなかった。外国人の講師とも日本語で会話し、外国語活動の要素が少なかったためと考えられる。
- 参加者の声
  - ・外国の歴史を知り外国の伝統的な遊びができてよかった。
  - ・今回学んだ国以外の世界についても知りたいと思った。

## 6 ねらいを踏まえた成果と課題

- 英語圏に限らない6人の講師の協力で、世界の多様性を学ぶことができ、外国での生活や外国人との関りについて関心を高めることができた。
- 閉会式で参加者全員の感想発表をしたが、ねらいの達成が十分に確認できるような発表にならなかった。ワークシート等で学んだことをまとめるなど、振り返りの充実を図る必要があると考える。



## 企画のポイント

様々な国からの講師を募り、言語や文化に触れ、国際社会の多様性を体感させる。

## ジュニアイングリッシュキャンプ

## 1 事業のねらい

幼少期の子どもたちに英語や異文化に触れる機会をつくり、世界に通用する人材の素地を養うとともに、保護者のグローバル社会における子育てのあり方についての意識向上を図る。

## 2 事業の概要

- 期日 R3.10.16(土)～17(日) 1泊2日
- 対象 幼児～小学校2年生とその保護者
- 人数 家族15組 40名
- 場所 ネイパル北見
- 協力 オホーツク管内のALT12名

## 3 プログラム

| 日時           | 6     | 7  | 8                | 9      | 10                | 11          | 12                | 13 | 14          | 15               | 16          | 17     | 18                         | 19             | 20 | 21             | 22    |        |
|--------------|-------|----|------------------|--------|-------------------|-------------|-------------------|----|-------------|------------------|-------------|--------|----------------------------|----------------|----|----------------|-------|--------|
| 10/16<br>(土) |       |    |                  |        |                   |             | 12:30~13:00<br>受付 | 受付 | 開<br>会<br>式 | 英語でコミュ<br>ニケーション | 着<br>替<br>え | 説<br>明 | お化けランタンづくり<br>プレゼン<br>トづくり | トリックオ<br>アトリート | 夕食 | 読み聞かせ<br>ふりかえり | 入浴・自由 | 就<br>寝 |
| 10/17<br>(日) | 起床・洗面 | 朝食 | 清<br>掃<br>点<br>検 | 準<br>備 | エンジョイ!<br>イングリッシュ | 閉<br>会<br>式 | 11:30<br>解散       |    |             |                  |             |        |                            |                |    |                |       |        |

## 4 ねらいを達成するための活動の工夫

- 異国の文化を学び、体験する活動
  - ・ALTによるハロウィンの文化を学習した後、実際に仮装して簡単な英語のコミュニケーションを用いて「トリックオアトリート」の活動や、親子で協力しながらハロウィンランタンづくりを行った。
- 英語が身近に感じられる活動
  - ・ALTによる身体を動かさず簡単なアクティビティーから、就寝前の絵本の朗読、イラスト入りのかかるたを利用した「スリーヒントクイズ」と、楽しみながら、段階的に英語を覚えるようにした。



「トリックオアトリート」で  
プレゼントをもらう。



ハロウィンランタンづくり

## 5 事業の評価

- アンケートから
  - ・「英語での活動を楽しむことができたか」の項目で「とても楽しめた」が84%、「楽しめた」が16%であった。
- 参加者の声
  - ・仮装やランタンづくりなど、楽しい活動の中で「英語は楽しい」と思いました。(児童)
  - ・普段英語に触れる機会がないのですが、子どもたちが生き生きと英語を話し、活動している様子を見てうれしくなりました。(保護者)
  - ・各家庭が英語での活動を楽しんでいる様子を見て、参加できてよかったと思います。(ALT)

## 6 ねらいを踏まえた成果と課題

- ALTと連携して、活動内容を吟味し、体験的な活動を多く取り入れたことで、参加者が積極的に英語でコミュニケーションをできた。また、保護者間の交流で活発な情報交換ができた。
- コロナ対応もあり、参加人数を多く受け入れることができなかつたこと、家族間の関わりに焦点をあてることができなかつたことが課題と考えられる。



## 企画のポイント

親子で海外の文化を学び、体験し、英語をもっと身近に感じられる活動の提供

# ジュニアイングリッシュキャンプ

## 1 事業のねらい

英会話を用いた買い物体験や英語での読み聞かせを通して英語への興味・関心を高めると共に、グローバル社会に対応した子どもを育成する。

## 2 事業の概要

- 期日 R3.12.11(土)～12.12(日) 1泊2日
- 対象 5歳～小学2年生までの児童とその同居家族
- 人数 47名
- 場所 ネイパル足寄

## 3 プログラム

|     |            |                  |        |                  |  |             |             |             |                 |  |  |                  |             |                 |             |                  |        |             |             |        |            |  |                  |        |
|-----|------------|------------------|--------|------------------|--|-------------|-------------|-------------|-----------------|--|--|------------------|-------------|-----------------|-------------|------------------|--------|-------------|-------------|--------|------------|--|------------------|--------|
| 1日目 | 12:00 受付開始 |                  |        |                  |  |             |             |             |                 |  |  | 変<br>更<br>付<br>付 | 開<br>会<br>式 | アイス<br>ブ<br>レイク | 活<br>動<br>1 | 講<br>話<br>絵<br>本 | 入<br>室 | 活<br>動<br>2 | 活<br>動<br>3 | 夕<br>食 | 入浴<br>自由交流 |  | 就<br>寝<br>準<br>備 | 就<br>寝 |
| 2日目 | 起<br>床     | 検<br>温<br>洗<br>面 | 朝<br>食 | 荷<br>物<br>清<br>理 | 休<br>息<br>物<br>品<br>の<br>買<br>い<br>物<br>準<br>備 | 活<br>動<br>4 | 片<br>付<br>け | 開<br>会<br>式 | 12:30<br>解<br>散 | 1日目14:00～14:45<br>【講師】大人向けプログラム：講師は足寄町教委 葛教育総務室主事<br>【絵本】子ども向けプログラム：外国人講師による絵本の読み聞かせ |  |                  |             |                 |             |                  |        |             |             |        |            |  |                  |        |

- 【活動1：外国の遊び体験】外国人講師の方々の国の遊びを紹介してもらいながら一緒に遊ぶ。
- 【活動2：買い物で使う英語表現】お店屋さんでのやりとりで使う英会話の練習をする。
- 【活動3：お店をひらく準備をしよう】家族でお店屋さんの準備、英語の看板とチラシを作成する。
- 【活動4：英語で買い物体験】家族ごとに客役と店員役に分かれて、英会話を使ってお買い物体験をする。

## 4 ねらいを達成するための活動の工夫

- お屋さんごっこ
  - ・英会話の必要性を高めるとともにグローバル社会における実践的なコミュニケーション能力を身につけられるように、お屋さんごっこの活動を取り入れた。
- 担当家族制の導入
  - ・「外国人講師によって参加者への関わり方に個人差がある」というこれまでの事業反省から講師に2～3家族を担当してもらうことにした。講師と家族双方にとって頼りになる存在となり、充実した活動が取り組めるようにした。



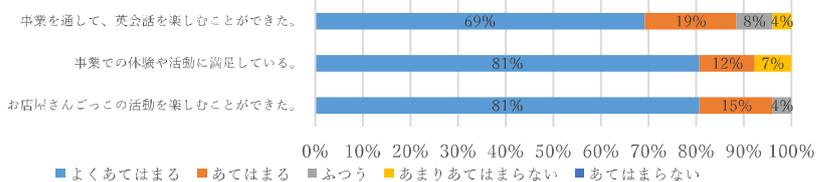
家族ごとにチラシを作成



店員役も英語でバッチリ！

## 5 事業の評価

### 事業全体の感想（子ども）



### 参加者の声

- ・外国人講師の先生とたくさんコミュニケーションできてよかった。
- ・お屋さんごっこで英会話ができるととても楽しかった。

## 6 ねらいを踏まえた成果と課題

- （満足度の肯定評価90%から）お屋さんごっこを通じて、買い物で使う英会話表現や英語のスペルを覚える活動を楽しみながら行うことができた。
- 本事業の学びを日常生活にも生かせるようにフォローアップやスキルアップの方法について事業計画の時点で構想して事業内で説明したり、紹介したりしていく。



## 企画のポイント

買い物体験や外国人講師との交流を通じて、家族で英会話を楽しむ。